



鶴望野 だより

2020年 第139号

発行元：社会医療法人長門英記念会 介護老人保健施設 鶴望野 〒876-0835 大分県佐伯市鶴岡町1丁目11番59号



ひな祭り



2月26日(水)に鶴望野行事のひな祭りを行う予定をしていきましたが感染予防の為に中止となりました。各グループの職員が出し物の準備や雛壇飾りを行っていたので、残念です。利用者様たちには少しでもひなまつりを感じて頂けるように大きなお内裏様、おひな様の前で写真を撮りました。又、3月3日のひな祭りの日にはひな人形の形をしたおまんじゅうを提供しました。

ひな祭りといえは女の子の為に行事というイメージが強いですが、調べてみたら元々は少し違うようです。ひな祭りの由来は中国から伝わった「五節句」という行事の「上巳(じょうし)、じょうみ)」であり、季節の節目を意味する「節」の時期は邪気が入りやすいとされています。その為、中国では川で身を清める習慣があり、日本では紙などで作った人形で体を撫でて穢れを移し川に流す事で邪気払いをする行事が広がっていききました。人形を流して邪気を払う習慣が、現在のひな祭りの元となった流し雛のルーツのようです。現在のひな祭りも「ひな人形」に穢れを移して厄災の身代わりになつてもうつさという意味が込められているので、入所者様達も元気に過ごして貰えるかと思えます。



祝 100歳

鶴望野に入所中の鈴木フサエ様が、2月17日で100歳を迎えられたため、2月17日(月)田中利明市長がお祝いのため来所されました。当日はご家族様が何人も来て下さりケーキやお花等のプレゼントを持参してお祝いをしました。大分合同新聞さんや佐伯ケールテレビさんも来て下さって盛大なお祝いとなりました。これからもお元気で長生きをして下さい。おめでとうございます。



集団生活



鶴望野では個別リハビリ(リハビリ職員と1対1)を週に3回〜6回行っており、それに加えて週に4回、集団体操や認知症予防体操を行っています。主に昼食前に集団でのリハビリを行うのですがその時間になるとホールに皆さんの楽しそうな声が響いてきます。



お知らせ

鶴望野入口にも掲示させて頂いています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、3月1日より面会をご遠慮いただいております。洗濯物や入所者様にお届けする物がある場合にはお手数ですが鶴望野受付までお声掛けをお願いします。施設が必要と認められた場合や、特別な事情があり面会を希望される方は、鶴望野受付までお越しください。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によって感染すると考えられています。飛沫感染とは感染者のくしゃみや咳によってウイルスが放出されてそれを非感染者が口や鼻から吸い込んで感染する事です。接触感染とは感染者が触った所にウイルスが付着しその部分に非感染者が接触して感染するになります。感染予防のための手洗いの方法と咳エチケットの説明が厚生労働省から出ていますので参考までにご覧ください。



→連日コロナウイルスの報道があり外出も自粛傾向の中なかなか明るいニュースが少ないです。個人的なニュースではありますが従兄弟が4月から就職が決まり家族一同、お祝いムードになっています。後は国家試験の合格通知を待つだけです。合格出来たら家族一同でお祝いしたいと思います。 Y・Y

編集
後記